

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		06 04 05	中期総合計画主要施策番号		1-04、2-02		担当課	部・課	環境部自然保護課
事業名		自然公園施設等整備事業				内線		2773	
						E-mail		shizenhogo@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	自然公園内の県が管理する歩道等の整備・補修等を継続的に実施し、自然環境が保全され、快適で安全な利用がなされるようにする。							
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 県が管理する既存の施設は、木造が主で老朽化が進んでおり、今後更に補修すべき施設が増加すると予想される。							
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 老朽化に加え、近年の集中豪雨等により県施設の破損が増加している。							
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 破損した県有施設のうち、自然公園利用者に供用している優先度の高い施設を中心に整備をし、自然環境の保全と公園利用者の安全性確保を図る必要がある。							
	事業内容	自然公園内の県が管理する施設で行う以下の事業 ・自然歩道の補修、整備 ・標識、案内板の整備 ・休憩施設の整備 など							
実施期間	S33 ~		根拠法令等	自然公園法、自然環境整備交付金交付要綱、地域自立・活性化交付金交付要綱					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H19)			達成状況		評価	
	自然公園内の歩道等の整備・補修を行い、自然環境の保全と、快適で施設管理不備による事故の発生のない安全な利用がなされる。		施設管理不備により生じた自然公園利用者の事故をゼロとする。			自然公園の利用状況により、重要度の高い施設から安全等を確保し、施設の管理不備による利用者の事故はゼロであった。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	15,336	19,144	10,421	国庫・県単	国庫・県単	
	決 算 額 (B)		千円	15,194	18,564		実施方法	直接・委託	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	12,823	10,788	6,200	歳出節別内訳等	委託費:2,651 工事請負費:14,991 (単位:千円)	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	1.00	1.00	1.00			
	概算人件費 (C)		千円	7,140	7,149	7,149			
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	22,334	25,713	17,570				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	整備・補修箇所数		箇所	5	8	6			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判 定 の 説 明	・県施設の老朽化・災害による荒廃が進行しており、整備・補修等すべき施設が増加している。 ・県施設の整備・補修に関する事業であるので、県に管理責任があるが、国立公園内の老朽化が進んだ施設についても、国による再整備を引き続き要望していく。 ・工種工法を精査し、効率的な設計・施工に努めている。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		ニーズの増加に対し必ずしも十分な整備ができているとはいえない。特に国立公園内については、国の三位一体改革により原則として国(環境省)が整備等することとなったが、現実には特別保護地区の一部のみであり、国に再整備を引き続き要望していく。						